



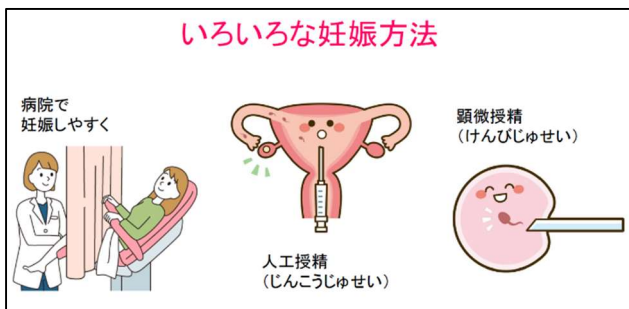
3年生 特別号

門真市立第二中学校
保健室
令和6（2024）年
11月11日

3年生～性教育で体と心の学習をしました～

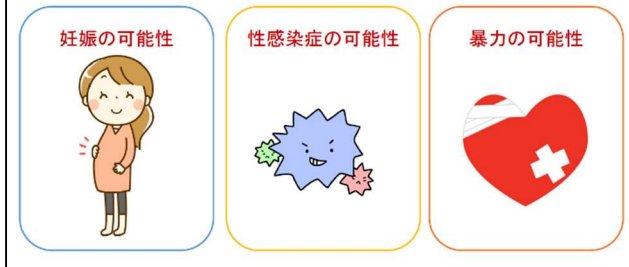
11月1日、助産師で思春期保健相談士の田中まゆさんに「自分の体と心を守る性のはなし」というテーマで性教育をしていただきました。田中先生には、今年の2月にも、二中で性教育の講演をしていただいております。今回は第2弾となります。お話の一部を紹介します。

いろいろな妊娠方法



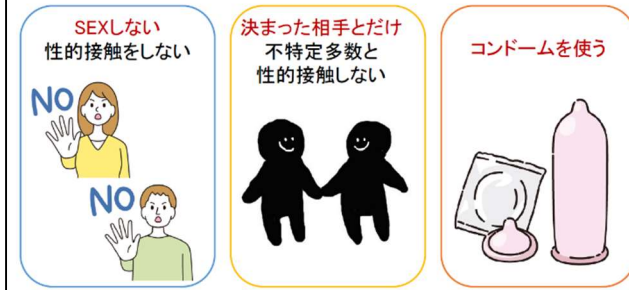
妊娠する方法は性行為以外にもあります。「妊娠している人」＝「性行為をした人」ではありません。その人がどんな方法で妊娠したのかは、他人が決めつけることではありません。「性はプライベートなもの」です。いろんな家族の形があるのです。

性行為(SEX)のその先に



性行為はリスクを伴います。リスクの一つ目は妊娠です。今、妊娠して困るなら、避妊する必要があります。コンドームや低用量ピルが代表的な避妊方法ですが、失敗することもあります。100%妊娠しないたったひとつの方法は「性行為をしない」ことだけです。

性感染症を予防するためには



性行為のリスク2つ目は、性感染症です。性感染症は、性的な接触によって感染します。無症状のこともあり、気づかないまま病院受診につながりにくいので、感染者が増えています。コンドームは自分だけでなく相手も守るものです。正しく使えるようになっておきましょう。

性的同意

・性的接触をする際には、いつもお互いの同意が必要であること。

不同意性交等罪・不同意わいせつ罪(2023年7月)

不同意性交等罪: 5年以上20年以下の懲役
不同意わいせつ罪: 6か月以上10年以下の懲役

性行為のリスク3つ目は、性暴力です。あなたのパートナーはあなたを大事にしてくれる人ですか？性的な接触には同意が必要です。「怖い」「体を守りたい」「今はやめておきたい」という自分の気持ちを大切にしてほしいし、パートナーはその気持ちを受けとめてほしいです。

みんなの感想

【自分の体と心を守る】

＊自分の心や体は自分で守っていかないといけないし、そのためには自分が嫌だと思うことはしっかりと伝えないといけない。タイミングも大事だと思ったし、自分でしっかり考えてから行動しないといけないと思った。

＊自分の身体や心は無理やりに相手にとられる必要はないし、自分自身で決断する。「いやだ」と思ったら言葉にしてしっかりと伝えることが大切だと学ぶことができた。

＊紅茶のたとえの話がわかりやすかった。寝ていたり、無反応の人に紅茶を飲むことを強要するのはおかしい。自分や相手の1つの選択で生活が大きく変わるからしっかりと考えて選択したい。

＊性行為をするさいにコンドームをつけるのは自分の身を守るためでもあるし、10代の中絶率が60%もあることをはじめて知ったので、自分はそうなりたくないからコンドームをつけようと思った。

＊恥ずかしいからという理由で性に関することから逃げてしまうと自分にとって危険な状態になることもあるのできちんと参加したいと思った。

【相手の気持ちを尊重する…性的同意】

＊相手の気持ちや気分などをお互いが尊重しあえる関係にしていきたい。相手や自分が嫌な時にいやと素直に言える環境を作りたい。

＊相手が「いいよ」と言っても完全な OK 以外はだめだと言っていた。でも完全な OK かどうかは相手自身にしかわからない。だから毎回、何度も同意を得て行動することが大切だと思った。



＊お互いが OK でも向こうがいやって言えなかっただ

けかもしれないとわかった。OK がほんとにお互いがのぞんでいるのか、OK って言っているだけでほんとはいやなのかってことをよく聞きたい。もっと自分を考えようと思った。

＊自分が思っていたことが今日の授業で変わった。親がいない時に家に遊びにきたら OK サインと思っていてそれが間違っていたとわかった。考え方をあらためたい。

＊嫌なことは嫌と言うことが大切。相手の意見を言葉できくことが大切。はっきり YES といわないやつはすべて NO ということがわかった。

【命に責任を持つ。対等なパートナーを見つける!!】

＊今、妊娠すると将来したいことができなくなるし、人生がくるうからパートナーとしっかり話し合っ自分信頼できる人じゃないといけないと思った。パートナーをしっかりと見極めないといけないと感じた。

＊同意は性的なこと以外にも日常生活での「友達」にも必要で自分の生活と考えて聞くことができた。自分の意見や気持ちを相手に伝えることは大切だし、相手が自分に伝えやすいようにしたいし、その内容を認め合うことも大切。

＊妊娠したら責任とかもとれないし、そういう行為は責任を持つ覚悟のもとにやらないとあかんとわかった。

＊間違った性の知識で相手を傷つけてしまうことがある。性はプライベートなものということに共感した。「あの人子どもいっぱいおからいっぱいやってるな～」とか最低だしモラルがない。

＊性行為はいつからする?とかではなく自分自身で責任をとれるようになってからするものだということがあった。また、いつ「NO」と言ってもいいし、気が変わってもいいということもわかった。妊娠することは女性だけの問題ではなく男性側も逃げずに寄り添うことが必要だと感じた。